

BUSINESS REPORT 2020

第64期 中間報告書

2019.4.1~2019.9.30



株式会社田中化学研究所

株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第64期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況及び中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

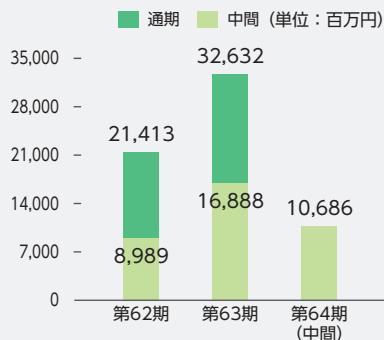


株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

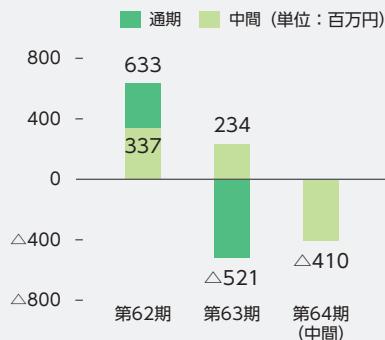
横川 和史

財務ハイライト

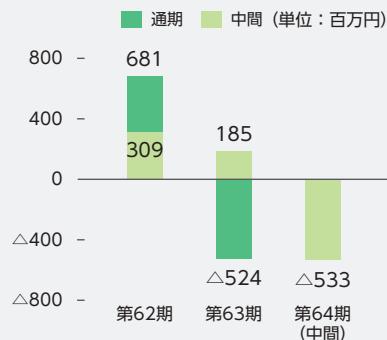
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



事業の概況

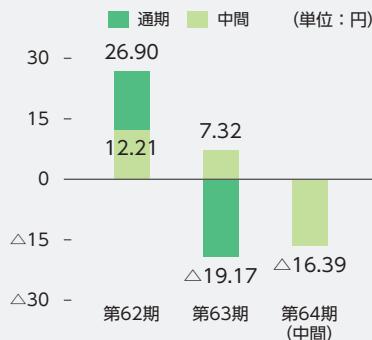
当第2四半期累計期間における二次電池業界は、世界的な環境規制強化の流れから航空機や船舶にいたるまで電動化への対応など用途拡大も含め市場成長が続いております。一方で米中貿易戦争に端を発した世界景気減退の不安感が増している中、中国の新エネルギー車市場では政府の補助金減額や市場参入の規制緩和など様々な政策が講じられております。また、これらを背景として関連産業では国をまたいだ企業間の連携など新たなサプライチェーンの構築が本格化し、拡大する市場への対応が活発化しております。

このような市場環境の中、当社といたしましては当事業年度から翌事業年度にかけてリチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品の増産体制の構築に向け着手しております。

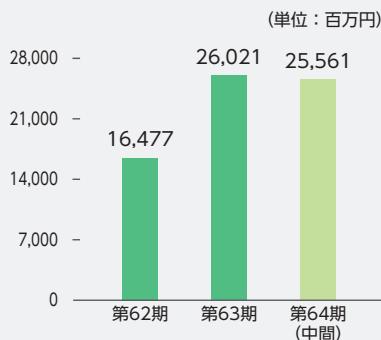
足下の業績面においては主要顧客のリチウムイオン電池車載用途向け製品において仕様変更の対応に時間を要したことから一時的に販売数量が減少したことに加えて、同電池民生用途向け製品においても最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少いたしました。また、販売価格においても顧客からの厳しい要求から対応を余儀なくされております。さらに、コスト面においては中期的な増産に向けた設備投資に加えて組織人員体制を強化していることから減価償却費及び労務費を中心に経費が増加し、採算面では厳しい状況が続いております。

また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、前年第2四半期より徐々に下落をはじめ前期末にかけてニッケルは約70%、コバルトについては約30%の水準にまで下落し、

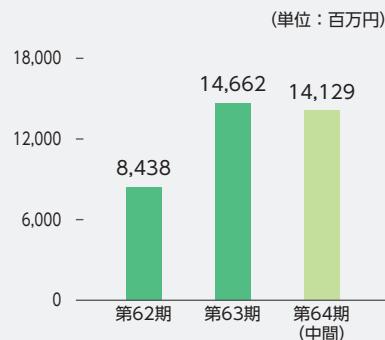
1株当たり中間(当期)純利益



総資産



純資産



当第2四半期にかけても大きな変動なく推移したため、売上高においては前年同四半期と比べ大きな減少要因となっております。

以上の結果、売上高10,686百万円（前年同四半期比36.7%減）、営業損失391百万円（前年同四半期は営業利益219百万円）、経常損失410百万円（前年同四半期は経常利益234百万円）、四半期純損失は533百万円（前年同四半期は四半期純利益185百万円）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりであります。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

[リチウムイオン電池向け製品]

前年同四半期比で15.8%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- 車載用途は、主要顧客向け製品において仕様変更の対応に時間を要したことから一時的に販売数量が減少し、前年同四半期比で5.8%の減少となりました。
- 民生用途は、最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少し、前年同四半期比で25.6%の減少となりました。

[ニッケル水素電池向け製品]

前年同四半期比で11.9%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- 車載用途は、HV車の好調を背景に主要顧客からの受注が増加基調で推移しており、前年同四半期比で18.1%の増加となりました。
- 民生用途は、市場の縮小から当社の生産体制においても他用途へと転用を図っており、前年同四半期比で27.1%の減少となりました。

ご参考

(ニッケル国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2020年3月期	1,360	1,691	—	—
2019年3月期	1,592	1,489	1,307	1,378

(コバルト国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2020年3月期	4,028	3,729	—	—
2019年3月期	10,429	8,741	8,089	4,483

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

私たちは「正極材料メーカー」です。

主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの「高性能二次電池」に使用されています。当社の開発した正極材料を使った製品が街中にあふれ、現代社会のあらゆる場所で活躍しているのです。

当社の主力製品



三元系正極材料



ニッケル系正極材料



水酸化ニッケル



水酸化ニッケル
(コバルトコート品)

より良い電池を生み出すために、当社の社員は日進月歩で進化する高性能な正極材料の開発・製造に挑んでいます。

二次電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

二次電池とは？
充電することで電気を蓄え、繰り返し使用できる電池のことです。

最終製品イメージ



タブレットPC・ノートパソコン・
電気自動車・電動工具など



ハイブリッドカー・
乾電池型二次電池など

暮らしに欠かせないスマートフォンを毎日のように充電して使えるのは、二次電池があるから。
ノートパソコンや電気自動車も二次電池が原動力になっています。

私たちは**先進テクノロジーを支える存在**です。

テクノロジーの進化に伴い、当社が開発した正極材料を使った製品はますます街中にあふれていきます。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当中間期 (2019年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	16,065,219	11,933,054
現金及び預金	2,035,756	4,460,268
受取手形及び売掛金	2,748,772	2,824,093
電子記録債権	129,763	18,458
商品及び製品	1,051,275	1,463,916
仕掛品	1,846,643	2,047,676
原材料及び貯蔵品	1,078,584	966,825
グループ預け金	6,500,000	—
その他	674,424	151,815
固定資産	9,956,315	13,628,904
有形固定資産	9,717,464	13,500,389
無形固定資産	6,721	7,259
投資その他の資産	232,129	121,254
その他	232,580	121,705
貸倒引当金	△ 451	△ 451
資産合計	26,021,535	25,561,958

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当中間期 (2019年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	9,225,408	9,441,109
支払手形及び買掛金	3,607,065	3,449,989
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	46,125	44,217
引当金	139,993	122,812
その他	5,132,225	5,524,091
固定負債	2,133,702	1,991,040
長期借入金	2,100,000	1,950,000
その他	33,702	41,040
負債合計	11,359,111	11,432,150
(純資産の部)		
株主資本	14,646,689	14,113,565
資本金	9,155,228	9,155,228
資本剰余金	6,662,707	6,662,707
利益剰余金	△ 1,169,168	△ 1,702,293
自己株式	△ 2,077	△ 2,077
評価・換算差額等	15,734	16,243
その他有価証券評価差額金	15,734	16,243
純資産合計	14,662,424	14,129,808
負債純資産合計	26,021,535	25,561,958

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前中間期	当中間期
	(自2018年4月1日 至2018年9月30日)	(自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	16,888,665	10,686,262
売上原価	15,783,409	10,204,530
売上総利益	1,105,255	481,732
販売費及び一般管理費	885,945	873,481
営業利益	219,310	△ 391,748
営業外収益	31,928	4,595
営業外費用	16,994	23,110
経常利益	234,244	△ 410,263
特別利益	4,676	3,529
特別損失	3,847	399
税引前中間純利益	235,074	△ 407,133
法人税、住民税及び事業税	19,397	4,035
法人税等調整額	30,222	121,956
中間純利益	185,453	△ 533,124

役員の状況

(2019年9月30日現在)

取締役会長	茂 苺 雅 宏	
代表取締役 社長執行役員	横 川 和 史	
取 締 役	久 野 和 雄	
取 締 役	小 坂 伊知郎	
取 締 役	田 中 浩	
副社長執行役員	大 畑 尚 志	(事業支援室・営業本部・情報開示担当)
執 行 役 員	嶋 川 守	(生産本部・IR担当)
執 行 役 員	田 中 学	(研究本部担当 兼 役員補佐 営業本部担当)
執 行 役 員	中 根 堅 次	(RC室担当 兼 役員補佐 研究開発部担当)
常勤監査役	大 嶋 哲 夫	
監 査 役	増 田 仁 視	
監 査 役	井 上 毅	

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前中間期	当中間期
	(自2018年4月1日 至2018年9月30日)	(自2019年4月1日 至2019年9月30日)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	1,665,655	△ 342,409
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,354,200	△ 5,392,342
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 218,791	1,667,250
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	4,813	△ 7,986
V 現金及び現金同等物の 増減額	97,477	△ 4,075,487
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	2,945,108	8,535,756
VII 現金及び現金同等物の 中間期末残高	3,042,586	4,460,268

株式の状況

(2019年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
 ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
 ③株 主 数 13,769名
 ④大株主の状況 (上位10名)

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	16,407,200	50.43
田中 保	1,264,200	3.88
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.41
田中 浩	300,000	0.92
株式会社福井銀行	300,000	0.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	251,900	0.77
住友商事株式会社	250,000	0.76
株式会社SBI証券	236,600	0.72
住友生命保険相互会社	210,000	0.64
田中 弘	203,300	0.62

(注) 持株比率は自己株式 (1,086株) を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

会社概要

商号	株式会社田中化学研究所
設立	1957年12月
資本金	9,155,228千円
主な事業内容	二次電池用の正極材料の製造販売
従業員数	273名
住所	〒910-3131 福井県福井市白方町45-5-10
電話番号	0776-85-1801 (代)
ホームページ	http://www.tanaka-chem.co.jp/



最新の当社IR情報等
ご覧いただけます。

(2019年9月30日現在)

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。